

平成29年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 3 -

① 重点項目	進路支援		
② 重点課題	生徒の主体性を引き出すための情報提供と進路指導		
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> 進路を決めかねている生徒や、明確な進路目標を持っていても自主的な学習行動に至らない生徒が見られる。 県内外進路研修、進路体験講座など多くの進路学習が行われているが、生徒は受動的であり、個々の活動を系統的に生かし、進路意識を高めていくことが苦手である。 		
④ 達成目標	①外部模擬試験や校内課題テスト等の結果を精査し個々の進路指導に反映させる。	②学年末までに2年次生徒全員の進路目標を決定させる。	③生徒の進路希望を実現させる。
	全ての課題テスト・模擬試験を対象として実施する。 事前・事後指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望者は具体的な学校名が挙がる。 就職希望者は就職への意識が固まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望生徒 第一志望校合格率 80%以上 就職希望生徒 就職内定率 100%
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> 進路体験講座などでの上級学校の講義を通じて、将来像をイメージさせる。 「県内外進路研修」や「インターンシップ」、「卒業生に聴く会」を通じて上級学校や職場の雰囲気に触れさせ、自己理解の深化と進路・職業意識の向上を図る。 生徒の多様な進路希望に対応するため、入試動向や求人状況の研究を深め、基礎学力の定着や資格取得ができるように面接指導の充実を図る。 特別授業や補習を綿密に計画し、個々の生徒の目標達成に必要な基礎学力の向上を図る。 外部模擬試験や校内課題テスト等の成績データを精査・検討し、成績の内容などをHRや保護者会などで説明し、進路指導に生かす。 		
⑥ 達成度	<p>外部模試は、過去問や事前学習用の問題集を使った模試対策ができたが、模試の結果はクラスで配布するにとどまり、進路指導に生かしていない。</p> <p>校内課題テストは、基本的内容の出題が多い割には点数が取れず、その後の教科指導等に生かしていない。</p>	<p>進学希望者94名、就職希望者59名となっている。進学希望者は、自分の目指す学校が決まっているが、就職希望者の中には、安易に就職を考えている生徒がおり、大変不安である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望生徒 第一志望校合格率 91.2% 就職希望生徒の就職内定率 100%(45人中45人内定)
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスの実施…5月に3年生全員と1, 2年生の希望者及び全学年の希望保護者を対象に実施した。 県内及び石川県の大学、短大、専門学校の講師を招聘し、3年生の進学希望先をもとに16講座を開講し、学校の特色や学習内容、入試方法などの説明を聞いた。また、就職希望生徒に対しては働くことの意義や求められる職業適性などを理解するための就職講座を1講座開設した。 進路体験講座の実施…全学年希望生徒対象に実施。延べ168名参加(昨年度116名)。 7月に3講座(63名参加)、12月に6講座(105名参加)を開講した。特に、看護・保育・福祉関係の講座は人気があり、参加者も多数いた。7月は全学年からの参加があり、12月は1, 2年中心の参加であったが、3年生からも医療・看護系と自然科学系の参加があった。生徒は進路選択や分野選択での参考にしていく。 1学年：全員を対象として県内の上級学校や企業を見学した。週末に学習する習慣づけとして、「週末課題」にも取り組ませた。 2学年：全員を対象として、2泊3日の日程で関西方面の企業や上級学校を見学した。また、夏休み期間に50名によるインターンシップを27施設で実施した。(延べ221日間) 11月と1月に学年の進路ガイダンスで学校説明や就職講演を聞き、自分の進路希望が具体的にできるようにした。 3月には全員対象に「卒業生に聴く会」や「進路体験フェア」を実施した。 3学年：9月初旬にPTA5名による就職模擬面接指導を行った。生徒8名が参加し、生徒は緊張の中、本番同様の雰囲気の中で臨めた。 進学希望者に対しては、面接・小論文・学科試験に向けた個別指導を行う。特に、国公立大学進学希望者には個別指導を6月から密に行い、学力向上に向けしっかり取り組ませた。 このほか、「一日看護体験」に1～3年生の24名が参加した。 全学年で、放課後や長期休業期間中に進学者補習や特別授業を実施した。 1, 2年生は全員、3年生は全ての進学希望者に、進学希望先に応じた外部模試に参加させた。 		
⑧ 評 価	C	B	A
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップは社員にとっても良い刺激になっている。 就職の内定率100%も大事だが、離職状況を調べてみてはどうか。 地元の中小企業が採用がなく困っている。ただし、企業側もアクションを行う必要がある。 		
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 面接・小論文対策として、1年次から材料となるワークシートや保管が必要である。 明確な進路目標を持たせるため、地域、PTA、ハローワークなどの外部との連携を取り、支援を受けられる体制を充実させる。 		

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)